

平成 26 年 9 月 15 日～9 月 21 日までの全国の暑さ指数（WBGT）の  
観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について  
（お知らせ）（平成 26 年度第 14 報）

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5 月 12 日（月）から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約 150 地点について、過去 1 週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症による救急搬送者数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週（9 月 15 日～9 月 21 日）の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数 31℃以上（危険）の時間数（168 時間中）

1. 久米島（沖縄県）	3 5 時間
2. 南大東島（沖縄県）	3 3 時間
3. 与那国島（沖縄県）	2 5 時間
4. 石垣島（沖縄県）	2 3 時間
5. 宮古島（沖縄県）	1 9 時間
6. 西表島（沖縄県）	1 7 時間
7. 那覇（高知県）	1 4 時間

<参考>全国 9 都市の観測地点

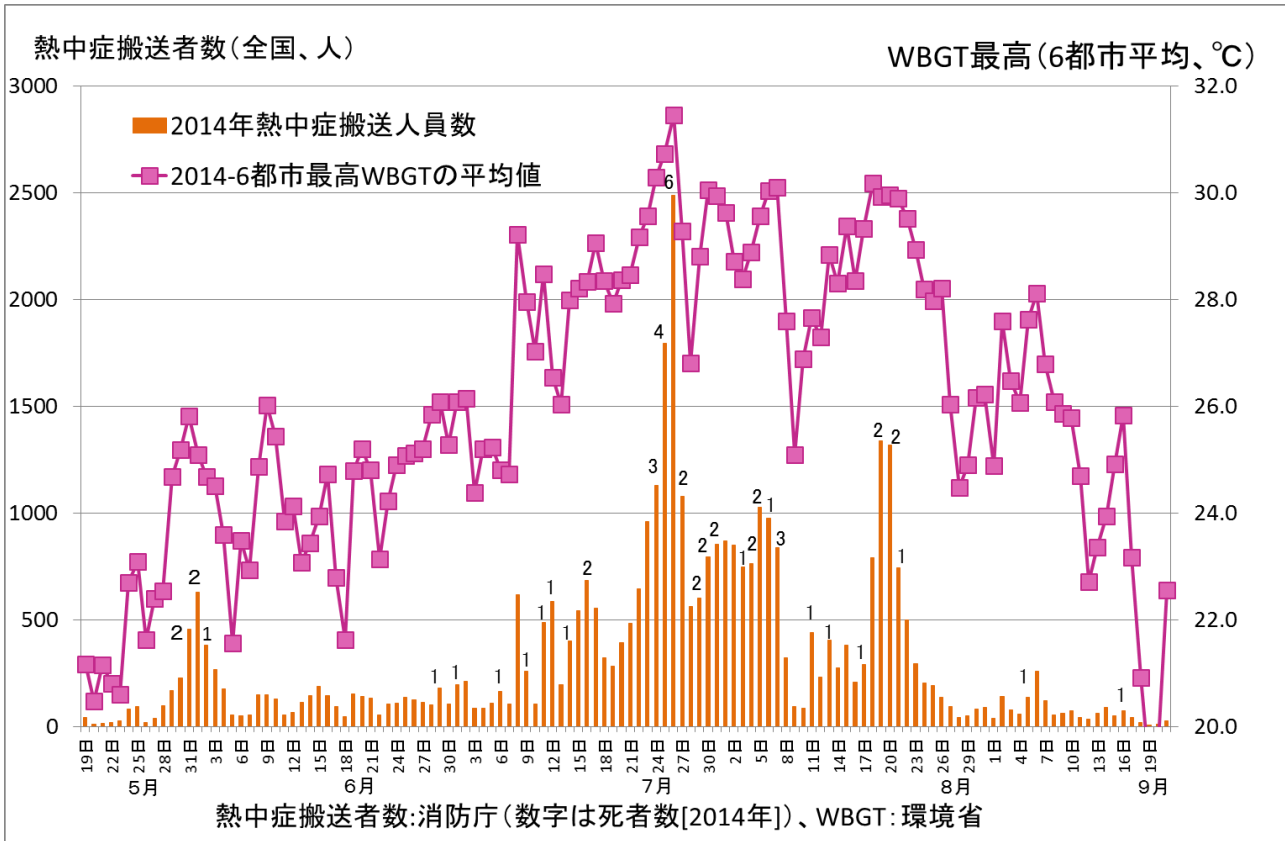
札幌（北海道）	0 時間
仙台（宮城県）	0 時間
新潟（新潟県）	0 時間
東京（東京都）	0 時間
名古屋（愛知県）	0 時間
大阪（大阪府）	0 時間
広島（広島県）	0 時間
福岡（福岡県）	0 時間
鹿児島（鹿児島県）	0 時間

（注 1）暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。

（注 2）暑さ指数 31℃以上の時間数は、今回の調査では、久米島の 35 時間が最多で、153 地点のうち 11 地点で暑さ指数 31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数 31℃以上とは、（公財）日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

### 3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、9月15日～9月21日までの期間は19～26°Cでした。熱中症による救急搬送者数は、消防庁発表の速報によると8～72名(最多は9月16日)で、やや高い水準となりました。
  - 昼間の日最高暑さ指数(WBGT)は、9月15日～9月21日までの期間、南西諸島では31°C前後で推移し、厳しい残暑が続いていますが、その他の地方は25°C前後、または、それ以下となりました。熱中症危険度の「厳重警戒」を示すWBGT28°Cを超えた地点は11～14地点(全153地点中)で、南西諸島では、熱中症に厳重な警戒が必要な暑さとなっています。
  - 気象庁発表(9月25日11時時点)の週間天気予報では、最高気温・最低気温ともに、平年並か平年より高い日が多いですが、期間の後半は平年より低い所がある見込みです。沖縄・奄美では、平年よりかなり高い日もある見込みです。
  - 南西諸島では、引き続き熱中症に警戒が必要な暑さが続きます。その他の地方でも、晴天日には気温が上がります。屋外活動など普段と異なる行動をとる際には、無理をせず、こまめな水分補給と休息につとめてください。
- (注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。  
6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡